



サフラン便り

第14号 17年4月15日発行

発行: 佐賀県女性薬剤師会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931

FAX:0952-23-8941

<http://www8.ocn.ne.jp/~saffron>

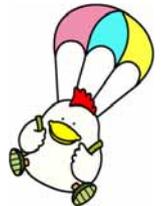
日女薬「診療ガイドライン薬剤コース」

平成16年度 後期スクーリング講習会 報告

佐賀県薬剤師会女性薬部会では、日頃研修会になかなか出席できない薬剤師の方の支援として、今回初めての試みでありましたが、「診療ガイドライン薬剤コース」に参加いたしました。この講座は、診療ガイドラインに基づいた疾患の概念、診断治療をトータル的に学び、患者さんに適切な服薬指導ができるための通信講座です。5回講座が終了した時点で、学んだことを確認する為に、なごり雪の降る中、スクーリング講習会を開催いたしました。

日時: 平成17年3月13日(日) 9:00~13:30 於: 県薬2階研修ホール

内容: 「アレルギー性鼻炎の薬物治療について」(田辺製薬 鋤崎忠雄先生)
「気管支喘息の病態から治療まで」(佐賀大学医学部 福野裕次先生)
「高血圧について」(三輪堂医院 橋本隆壽先生)
「インフルエンザの最近の知見」(化学及血清療法研究所 宮崎圭一郎先生)
「高尿酸血症の病態と治療」(鳥居製薬 荒木泰之先生)



<出席者アンケートから>

- ・ 薬だけでなく病態のことが学習できた点良かった。資料の字が小さく見にくいものがあった。いくつかの病気の講義を半日で聴けるので時間や来る回数が節約できて良かった。(20代)
- ・ テキストの全範囲を万遍無く分かり易く丁寧に教えてくださり良かった。(20代)
- ・ 疾病の分類、ガイドラインが Dr.からの説明で分かり易かった。インフルエンザは今の状況をくんでの説明だったので良かった。(20代)
- ・ 時間が短く説明が駆け足でノートを取るのも追いつきません。簡単にまとめた資料が欲しい。「高血圧について」は本に書いてある通りではなく、分かり易く解説しながらの話で楽しく聴けた。(30代)
- ・ 集中的に復習できたことが良かった。託児所ありがとうございました。食事時間が欲しかったです。(30代)
- ・ テキストで予習の勉強をしてから話を聴くので通常よくある勉強会よりわかり易かった。(30代)
- ・ 久々に勉強した。小児喘息のガイドラインをもっと聞きたかった。(40代)
- ・ 「高血圧」「インフルエンザ」「高尿酸」それぞれすぐ使える知識となった。実務に沿った講習会で良かった。講師の話が面白かった。(40代)
- ・ 日頃の勉強不足に喝が入った。橋本 Dr.に脳の話をもっと聴きたかった。(40代)
- ・ こういう機会がないと自分からはなかなか勉強しないので、良いきっかけができた。眠くなる暇もないくらい面白かったです。(40代)
- ・ Dr.の現場の話で薬と治療の関係が良く分かった。(40代)
- ・ 実践的 Dr.で診療していただきたいなあと感じるユニークな講師の先生でした。朝早かったので暖かいコーヒーを用意していただき助かりました。(40代)
- ・ ガイドラインは難しいというイメージがあったが、あまり難しく考えないで勉強していこうと思った。(40代)
- ・ 高血圧はいつも循環器の Dr.の話聴いているので、脳外科の見方での話は面白かった。専門によって見方がここまで違うかと感じた(40代)
- ・ 司会進行の手際が良い。タイムリーでよく薬局で出会う内容で興味が持てた。疑問が解けた。(50代)

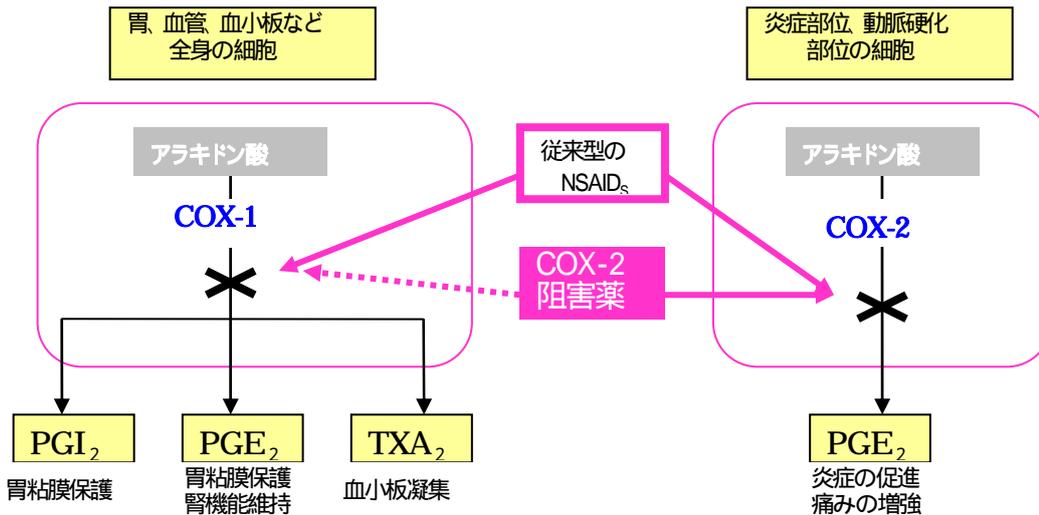
NSAID_s が心筋梗塞を招く？

(COX-2 阻害薬以外にも心血管リスクの可能性)

COX-2 選択性の高い NSAID_s は、COX-1 を阻害しないので、血小板でトロンボキサン(TXA₂)の産生が抑えられないため血栓形成性が増し、心血管リスクを上昇させるのは理論的にあり得る事です(図1)。けれども糖尿病、高血圧などを有する患者には、従来型の NSAID_s を投与する場合でも心疾患の兆候に注意した方がよいということがいわれています。なぜなら NSAID_s は生体内で様々な物質に作用することが判明しており COX-1, COX-2 の阻害率だけの問題ではないとの見解があるからです。

図1 COX-1 と COX-2 が産生する物質とその機能

Nikkei Medical 2005年3月号より



ちょっと一言

最近、性差医療の話題がよくのびります。日常業務時のヒヤリハットミスにも少なからず潜在的な要素に性差が関与しているように思えます。例えば、家事・育児・介護・女性特有の身体的バイオリズム等があります。精神的にゆとりがある時は、日常業務をスムーズにこなせますが、突発的な家族等の問題発生により平常心が揺らぎ、注意力の欠如を起こしてしまいます。冷静に自分自身を見つめる為に、ヒヤリハット報告書を書くことでミス時の心理的な分析ができるのではないのでしょうか？(島田・宮地)

女性の病気に関する情報提供サイト

日本女性薬剤師会発行 全国研修会資料より

- ・女性の体と心について <http://www.heartful-smile.com/07/07-220.html>
- ・さまざまなうつ病 http://mental-cl.web.infoseek.co.jp/any_dep.html
- ・メンタルネットさまざまなうつ病について <http://www.mental-net.com/info-01.html>
- ・UTU - NET うつ病教室 <http://www.utu-net.com/utur/02/01.html>

県薬生涯教育研修会 案内

4月23日(土) 6時~7時30分

講師：田中裕幸先生(ニコークリニック院長)

演題：変わりつつある日本の医療の常識

- 女性のコレステロールは下げなくても良い -

<http://www.niko-clinic.or.jp/>

薬局で使える英会話

お薬を飲んでトラブルが起こったことがありますか？

Have you ever had any problems after taking medicine?

何か心配なことが起きましたら内服を中止し、お申し出ください。

If you develop any unusual symptoms, please stop taking it and contact us.